

需給調整市場検討小委員会および 調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会の 開催方針について

2022年11月2日

需給調整市場検討小委員会 事務局
調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会 事務局

- これまで、需給調整市場に係る検討は、調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会（以下、作業会）で技術的なご議論をいただいた後、需給調整市場検討小委員会（以下、小委員会）にて、作業会の技術的議論も踏まえた需給調整市場の方向性についてご審議いただいていた。
- この作業会での議論および小委員会での審議に関して、至近においては、作業会で議論した直後の小委員会で、作業会と同じ議題を審議している状況にあり、両会議体を開催するにあたっては、効率化の余地があると考えられる。
- そこで、今回、小委員会および作業会の開催方針について、改めて整理を行った。

- 国から、需給調整市場を創設する方針が示され、また、その検討においては、広域機関が技術的検討を担当することになった。需給調整市場創設に向けた技術的検討にあたっては、各エリアの調整力電源の制御方式、運用実務、DRなど需要側資源の制御方式などの技術的な面を十分考慮する必要があることから、効率的に検討を行うため、調整力及び需給バランス評価等に関する委員会のもとに、周波数制御・需給バランス調整を担う一般送配電事業者を含む作業会が設置された。(2017年2月24日)
- その後、需給調整市場の運営主体について、運営の透明化が求められるなか、有識者や関係事業者が参加する形で、調達・運用の考え方、調整力必要量の考え方、商品設計などの見直しを検討するため、小委員会が設置され、作業会は小委員会のもとでの設置に変更された。(2018年1月23日)
- 小委員会設置後、当面は作業会にて需給調整市場に係る技術的な検討等を議論、小委員会では作業会での技術的な検討に加え、市場運営に係る検討を審議していた。

- 作業会開始当初においては、需給調整市場で調整力を取引するための課題出しや事業者によるプレゼン等、ある種勉強会のような議論がなされていた。
- 小委員会開始後においても、作業会では事業者ヒアリングや一般送配電事業者による技術検討を行い、議論を重ねつつ、小委員会ではそういった議論も踏まえた調整力の個別課題等を審議していた。
- 一方で、課題解決の方向性が具体化されるにつれて、至近（2021年6月以降）においては、作業会で議論した議題をそのまま直後の小委員会で審議しており、作業会単独で議論している議題はない状況になっている。

【これまでの小委員会・作業会の議題（概要）】

開催回	作業会	小委員会
第1回～第9回作業会 (2017年3月～2017年12月)	調整力の広域的調達・運用の技術的課題抽出 調整力活用事例 (一般送配電事業者、DR事業者など)	—
第10回～第34回作業会 第1回～第22回小委員会 (2018年3月～2021年3月)	三次①・②商品設計 細分化した調整力必要量の算出方法 商品要件に関する事業者ヒアリング 一般送配電事業者による技術検討	三次①・②商品設計 細分化した調整力必要量の算出方法
第35回～第42回作業会 第24回～第32回小委員会 (2021年6月～2022年9月)	一次から二次②商品設計 三次①・②必要量 残課題対応	一次から二次②商品設計 三次①・②必要量 残課題対応

- 今後、需給調整市場に係る検討としては、主に商品設計の残課題、一次～三次②の必要量算定、および調達不足への対応を予定しているところ。これらの検討については、至近の状況と同様、作業会で議論し、そのまま直後の小委員会での審議になると考えられ、当面は作業会単独開催で議論すべき事項はないと考えられる。
- こういった状況変化も踏まえ、今後の開催方針としては、開催の効率化を図りつつ、引き続き、技術に特化した議論（技術的な担保）も可能となる、**小委員会・作業会の合同開催（議題が同じ場合）**にすることとしたい。

需給調整市場における課題一覧				6
■ 以下のとおり、商品毎に需給調整市場の課題を再整理した。				
商品	No	課題	詳細	
一次	1-1	広域調達	1ルート連系エリアにおける広域調達可否と開始時期	
	1-2	オフライン枠	オフライン枠の上限値の在り方	
	1-3	必要量	2024年度取引開始に向けた必要量の検討および精査	
二次①	2-1	技術要件	遅れ時間のスペックダウン防止策の検討	
	2-2	必要量	2024年度取引開始に向けた必要量の検討および精査	
二次②	3-1	必要量	2024年度取引開始に向けた必要量の検討および精査	
三次①	4-1	必要量	2023年度に向けた必要量の検討および精査	
	4-2	調達不足	調達不足解消に向けた施策	
三次②	5-1	必要量	必要量低減の取り組み（共同調達、アンサンプル予測等）	
	5-2	時間前市場	実需給断面において不要となる調整力の時間前市場への売り入れ	
複合	6-1	アセスメント分析	アセスメントⅡ 違反となる要因の分析	
	6-2	一次アセスメント	一次のみのアセスメント方法の検討	
	6-3	必要量	2024年度取引開始に向けた必要量の検討および精査	
共通	7-1	ネガポジ	リソース単体で最低入札量を満たすネガポジリソースの参入可否	
	7-2	機器個別	需給調整市場における機器個別計測・低圧アグリ可否	
	7-3	ブロック時間	ブロック時間の見直し時期	
	7-4	最低入札量	最低入札量の見直し時期	
	7-5	専用線	低コスト方式の拡大	
	7-6	混雑系統	将来の混雑系統からの調整力の調達の在り方	